

新約聖書において「聖書」「みことば」がどのように書かれているか

御言葉とは？

ヨハ 5:39 あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思って、聖書を調べています。その聖書は、**わたしについて証している**ものです。(イエス・キリストについて証をしている)

ヨハ 17:17 真理によって彼らを聖別してください。あなたのみことばは**真理**です。

Ⅱテモ 2:15 あなたは務めにふさわしいと認められる人として、すなわち、**真理のみことば**をまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神に献げるように最善を尽くしなさい。

テトス 1:9 **教えにかなった信頼すべきみことば**を、しっかりと守っていなければなりません。健全な教えをもって励ましたり、反対する人たちを戒めたりすることができるようになるためです。

ヘブル 1:3 御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その**力あるみことば**によって万物を保っておられます。御子は罪のきよめを成し遂げ、いと高き所で、大いなる方の右の座に着かれました。

ヘブル 2:2 御使いたちを通して語られた**みことばに効力があり**、すべての違反と不従順が当然の処罰を受けたのなら、

ヘブル 4:2 というのも、私たちにも**良い知らせ**が伝えられていて、あの人たちと同じなのです。けれども彼らには、聞いたみことばが益となりませんでした。みことばが、聞いた人たちに信仰によって結びつけられなかったからです。

使 7:38 また、モーセは、シナイ山で彼に語った御使いや私たちの先祖たちとともに、荒野の集会にいて、私たちに与えるための**生きたみことば**を授かりました。

(ステパノが殉教する前に語った言葉)

使 8:4 散らされた人たちは、**みことばの福音**を伝えながら巡り歩いた。

ロマ 1:2 ——この**福音**は、神がご自分の預言者たちを通して、聖書にあらかじめ約束されたもので、

ガラ 3:8 聖書は、神が異邦人を信仰によって義とお認めになることを前から知っていたので、アブラハムに対して、「すべての異邦人が、あなたによって祝福される」と、前もって**福音**を告げました。

Ⅱペテ 1:19 また私たちは、**さらに確かな預言のみことば**を持っています。夜が明けて、明けの

明星があなたがたの心に昇るまでは、**暗い所を照らす**ともしびとして、**それに目を留めている**とよいのです。

Iヨハ 2:7 愛する者たち。私^があなたがたに書いているのは、新しい命令ではなく、あなたがたが初めから持っていた古い**命令**です。その古い命令とは、あなたがたがすでに聞いているみことばです。

みことばの働き

使 20:32 今私は、あなたがたを神とその恵みのみことばにゆだねます。みことばは、あなたがたを**成長させ**、聖なるものとされたすべての人々とともに、あなたがたに**御国を受け継がせることができる**のです。

(ミレトにいたパウロが使いを送ってエペソの教会の長老を呼び寄せて話した時の言葉)

エペ 5:26 キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、**教会をきよめて聖なるものとする**ためであり、

へブル 7:28 律法は、弱さを持つ人間たちを大祭司に立てますが、律法の後から来た誓いのみことばは、**永遠に完全な者とされた御子を立てる**のです。

ヤコブ 1:21 ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを素直に受け入れなさい。みことばは、あなたがたの**たましいを救うことができます**。

IIテモ 3:15 また、自分が幼いころから聖書に親しんできたことも知っているからです。聖書はあなたに**知恵を与えて、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます**。

使 18:28 聖書によってイエスがキリストであることを証明し、人々の前で力強くユダヤ人たちを論破したからである。

ロマ 15:4 かつて書かれたものはすべて、**私たちを教える**ために書かれました。それは、聖書が与える**忍耐と励まし**によって、**私たちが希望を持ち続ける**ためです。

IIテモ 3:16 聖書はすべて**神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益**です。

みことばについて自分のすること

へブル 4:2 というのも、私たちにも良い知らせが伝えられていて、あの人たちと同じなのです。けれども彼らには、**聞いたみことばが益となりませんでした**。みことばが、**聞いた人たちに信仰によ**

て結びつけられなかったからです。

ヤコブ 1:22 みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となってはいけません。

ヤコブ

1:22 みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となってはいけません。

1:23 みことばを聞いても行わない人がいるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で眺める人のようです。

1:24 眺めても、そこを離れると、自分がどのようであったか、すぐに忘れてしまいます。

1:25 しかし、自由をもたらす完全な律法を一心に見つめて、それから離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならず、実際に行う人になります。こういう人は、その行いによって祝福されます。

1:26 自分は宗教心にあついと思っても、自分の舌を制御せず、自分の心を欺いているなら、そのような人の宗教はむなししいものです。

1:27 父である神の御前できよく汚れのない宗教とは、孤児ややもめたちが困っているときに世話をし、この世の汚れに染まらないよう自分を守ることです。

I ペテ 2:8 それは「つまずきの石、妨げの岩」なのです。彼らがつまずくのは、みことばに従わないからであり、また、そうなるように定められていたのです。

聖書やみことばは、「成就」するもの、その通りになるとして書かれている。

悟るもの、信じるもの、教えたり聞いたりするものとして書かれている。